



日本共産党・都区政レポート
震災・原発特集号
2011年 6月16日発行 号外

そねはじめ事務所
114-0032
北区中十条2-11-6
Tel: 3907-1135
Fax: 3906-3225

区内の子ども施設で地表と1mの空中、プール、学校・公園土壌を6～7月に **放射線測定を渋っていた北区政も急きょ決定**

荒川沿いの岩淵水門付近で放射線簡易測定を行なう
そねはじめ前都議、山崎区議(左)、さがら区議(右)



●6月6日の申し入れ以後うって変わって積極的に

日本共産党区議団が繰り返しかえし求めてきた北区の放射線独自測定がようやく実現しました。

6月下旬から区立の小中学校、保育園幼稚園、公園、児童遊園全てを順次地表と1メートルの空中放射線量を測定し、さらに全校のプールの水、いくつかの学校・公園の土壌や砂場の放射性物質も測定します。

6月6日の共産党申し入れに「23区が横並びでやるべき」と渋っていた花川区長も、8日には区の幹部会議で急きょ測定を決めました。東京都もほぼ同時に、共産党都議団と同じ地上1mと地表での測定を、都内4キロメートルごとに100箇所行なうこととなり、北区内では西浮間小学校、明桜中学校が選ばれ、6月中旬に開始されます。

●住宅リフォーム助成は全員適用になるか？

総額10万円以上の住宅修繕工事に対して、工事費用の20%（助成額は10万円が限度）を北区が助成する居住あんしん修繕支援事業は、現在申し込みが予定数を若干上回る程度のため、抽選せず、希望する区民は全て助成の対象となる可能性が出てきました。仕事づくりにもなるこの制度は、ぜひもっと多くの区民が利用できるよう予算も拡大させるよう要望しています。

●6月17日からの北区議会に放射線測定要望の陳情が多数寄せられました

6月の定例区議会は、17日11時頃さがらとしこ区議が区の震災や水害対策の抜本強化を求め代表質問、20日1時頃に、ながいとも子区議が社会保険病院の災害拠点病院としての充実を、3時頃に宇都宮あきら区議が北区の高齢者見守りネットワークの確立を質問します。ぜひ傍聴にお越しください。

●高齢世帯の「家具転倒防止器具」取付けサービスは500件から1500件に増大！

これまで区の取付けサービスを受けていない高齢者や障害者の世帯に、区が家具の転倒防止器具を支給し、取りつけもやってくれる便利な制度は、今回早めの申し入れが始まっています。

予定件数も500件から1500件に拡大。事実上申し込んで資格のある方は全てサービスが受けられそうです。詳しくは区役所までお問い合わせください。共産党区議団が5月末の防災委員会で質問し、実現を約束させました！